

初冬の赤岳

期間：平成 27 年 12 月 18 日（金）～ 12 月 19 日（土）

種別：個人 参加者：富岡 山域：八ヶ岳（赤岳）

コースタイム：

12/18 自宅発(4:30) ⇒美濃戸口着(8:00) ⇒美濃戸口発(8:30) ⇒赤岳鉱泉(11:15) ⇒行者小屋(12:00) ⇒赤岳展望荘(13:45) ⇒赤岳山頂(14:40) ⇒赤岳展望荘(15:30)

12/19 赤岳展望荘(9:30) ⇒行者小屋(10:30) ⇒赤岳鉱泉(11:50) ⇒美濃戸口(13:50)

12/18 天気：晴れ

前日は寒い夜だったため、美濃戸口も雪化粧していた。赤岳山荘の駐車場まで車移動も魅力的だが、2WD の車に無理は禁物・安全第一と考え、歩き始めた。赤岳山荘までの真っ白な雪道は、まだ 5 cm 未満の積雪であった。北沢の登山道は 10cm 未満の積雪であった。この新雪の中を、新しい登山靴で歩く。雪の感触を楽しみながら、靴のフィット感に満足しながら、赤岳鉱泉に到着した。



【赤岳鉱泉とアイスクャンデー】

赤岳鉱泉から行者小屋までの登山道は雪がしっかりとあり、雪山登山が本格的

になってきた。道中に赤岳展望荘の看板があり、今日は冬季営業日のプレーオープンの情報がある。時間・天気の条件に恵まれたので、15時までに山頂という目標を立て、山頂を目指す判断をした。



【行者小屋より赤岳】

アイゼンとピッケルを使いながら、樹林帯・鎖場を越え、2時間で展望荘まで到着した。展望荘は宿泊できる状態であり、お世話になることを決めた。山頂までの道は凍り付いた岩などに用心し、一步一步を慎重に進めた。



【山頂より富士山】

山頂は、絶景でした。この時期に、この景色を眺めることができた幸運に感謝した。なお、この写真を撮った方と2日後に木曾駒ヶ岳で再会する。

12/19 天気：晴れ

6時に朝食を済ませるが、視界不良と強風のために9時30分まで待機となる。その間はBS-TBS「日本の名峰絶景探訪」の撮影があり、小屋を守る方々の仕事や苦労を映像にまとめていた。放映は2月上旬予定で、今から楽しみだ。

八ヶ岳は冬季営業の山小屋も多く、その影響で登山者も多い山域だ。多くの登山者がトレースを作り、精神的な安心感や体力負荷の軽減という効果を得ている。今回、改めて山荘で働く方々に感謝を感じた。

展望荘から美濃戸口まで約3時間半で下り、翌日の木曾駒ヶ岳登頂のために駒ヶ根市を目指した。